

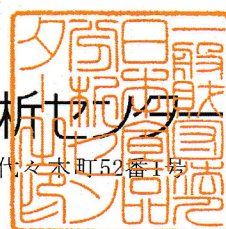
試験報告書

依頼者 株式会社 ケミカル・テクノロジー

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 光触媒コーティング NFE2-E3 塗布アクリル板

表 題 抗かび性試験

2018 年(平成 30 年)11 月 21 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

抗かび性試験

1 依頼者

株式会社 ケミカル・テクノロジー

2 検体

光触媒コーティング NFE2-E3 塗布アクリル板

3 試験概要

JIS R 1705 : 2016「ファインセラミックス-光照射下での光触媒抗かび加工製品の抗かび性試験方法」の試験方法を参考にして、検体の抗かび性試験を行った。

ただし、試験は以下に示す菌株を用い、検体は清浄化を行わずに試験に供した。

また、光照射条件は依頼者指定の方法とし、検体の暗所での測定は行わなかった。

Trichophyton rubrum TIMM 2659 (白癬菌)

4 試験結果

結果を表-1に、試験条件を表-2に示した。

なお、培養後の生残孢子数測定平板を写真-1～4に示した。

表-1 抗かび性試験結果

試験菌	測定	試験片	試験片1個当たりの生残孢子数								
			光照射 ^{*1}			暗 所					
			測定-1	測定-2	測定-3	平均値	測定-1	測定-2	測定-3	平均値	測定-3
白黴菌	接種直後 ^{*2}	無加工	3.6×10^4	2.3×10^4	2.3×10^4	2.7×10^4	3.6×10^4	2.3×10^4	2.3×10^4	2.7×10^4	2.7×10^4
	24時間後 ^{*3}	検 体	<10	<10	<10	<10	—	—	—	—	—
		無加工	2.6×10^4	3.3×10^4	2.7×10^4	2.9×10^4	2.9×10^4	2.1×10^4	3.0×10^4	2.7×10^4	2.7×10^4

無加工試験片：ガラス板

<10：検出せず

—：実施せず

*1 依頼者指定の条件で光照射 (0.25 mW/cm^2) を1時間実施した後、消灯して23時間保存

*2 光照射及び暗所共通

*3 室温 ($25 \text{ }^\circ\text{C} \pm 5 \text{ }^\circ\text{C}$) 保存

表-2 試験条件

区 分		対 照	光触媒抗かび加工
試験片	種類	ガラス板	検体
	大きさ	約50 mm×50 mm	約5 cm×5 cm
	厚さ	約1.7 mm	約0.5 mm
光源の種類		ブラックライトブルー蛍光ランプ, FL20SBLB352R1709 20 W[三共電気株式会社]	
予備照射条件		実施せず	
紫外放射照度計		UV RADIOMETER UVR-2 UD-36 Sensor[株式会社 トプコン]	
密着フィルムの種類		OHPフィルム[コクヨ株式会社] 約40 mm×40 mm	
保湿用ガラスの種類		ほうけい(硼珪)酸ガラス	
光照射条件		依頼者指定の条件で光照射 (0.25 mW/cm ²) を1時間実施した後, 消灯して23時間保存	
孢子懸濁液 の接種量	白癬菌	0.1 mL	
孢子懸濁液 の推定孢子数	白癬菌	5.0×10 ⁵ /mL	

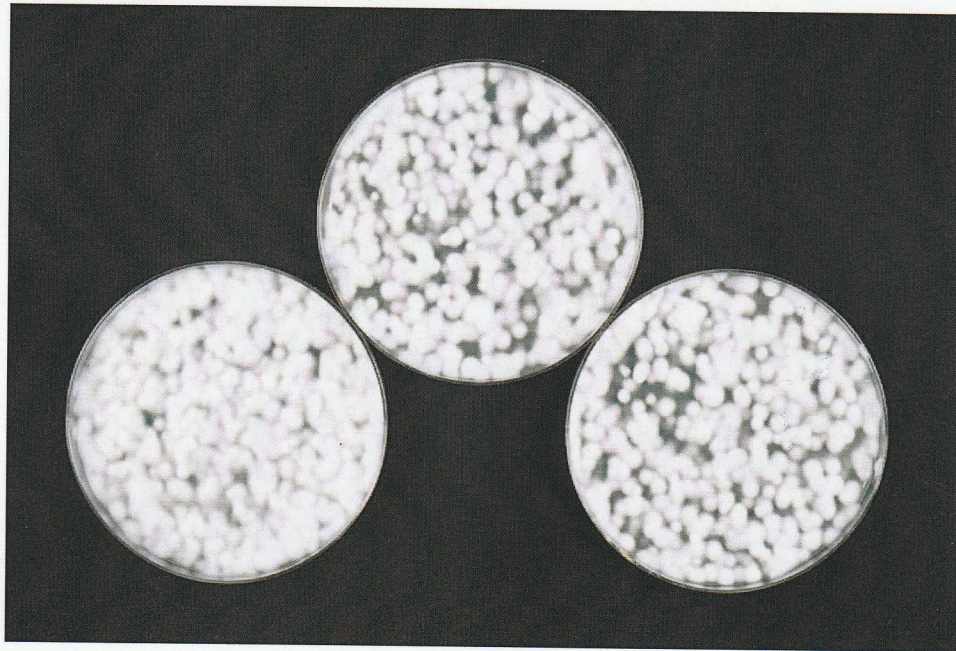


写真-1 白癬菌 接種直後 対照
(洗い出し液 1 mL)



写真-2 白癬菌 光照射 24時間後 検体
(洗い出し液 1 mL)

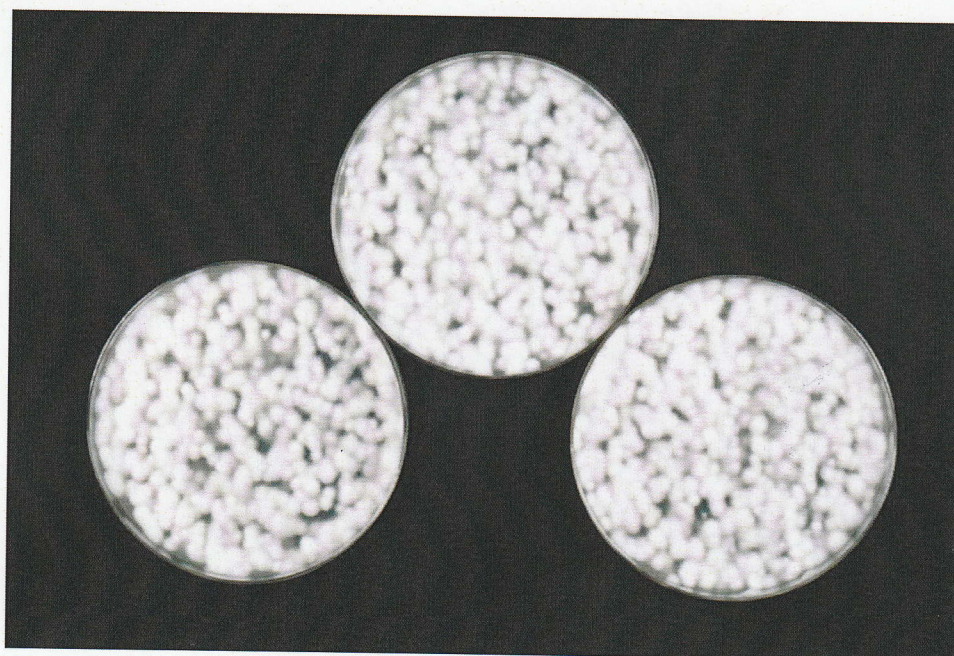


写真-3 白癬菌 光照射 24時間後 対照
(洗い出し液 1 mL)

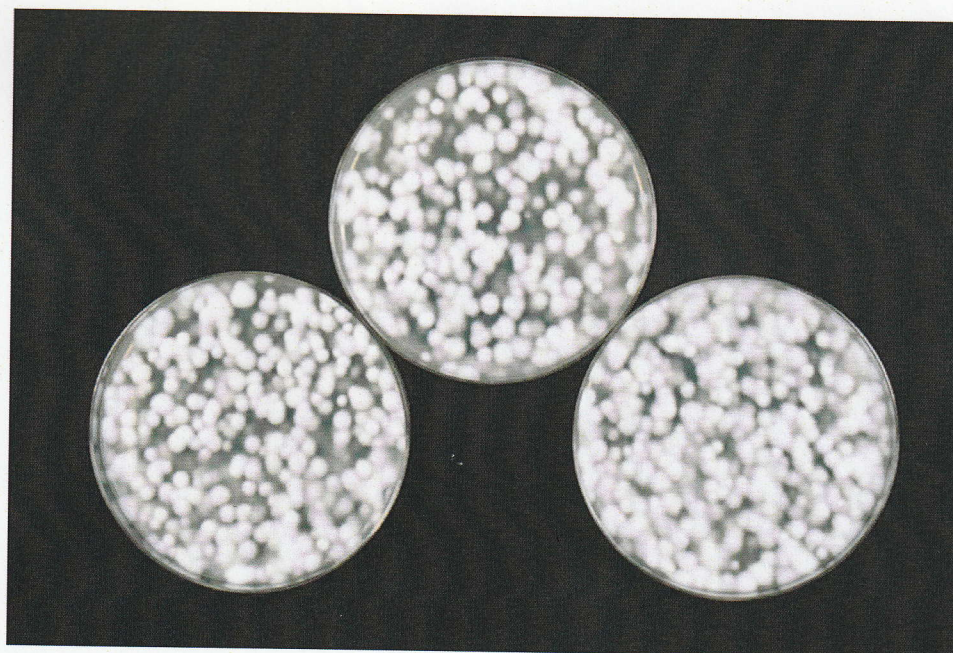


写真-4 白癬菌 暗所 24時間後 対照
(洗い出し液 1 mL)

以 上